

# 株式会社 千葉マリンスタジアム

## 1 団体概要

設立年月日	平成1年5月19日	資本金	230,000 千円	(うち市)	92,460 千円 40.2%
設立目的	スポーツ施設他の管理・飲食物販売の経営				
所在地	千葉市美浜区高浜4丁目12番2号				
代表者	代表取締役社長 竹本 和義				
所管課	都市局公園緑地部公園管理課				

## 2 組織状況 (令和7年4月1日現在) (単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員(監事含む)	3 (1)	5	8 (1)
うち市OB	1	0	1
うち市派遣			
職員	18		
うちプロパー	18		
うち市OB			
うち市派遣			
計	21		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数(内数)を括弧書きで記載している。

## 3 財務状況 (単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度
営業利益	32,802,281	54,123,168	51,357,476
経常利益	36,965,779	59,712,305	59,099,966
税引前当期純利益	36,965,779	59,712,305	59,099,966
当期純利益	23,264,679	45,423,505	39,028,666
総資産(A)	721,917,539	793,201,327	861,990,369
負債(B)	315,768,144	341,628,427	371,388,803
純資産(A-B)	406,149,395	451,572,900	490,601,566
市補助金	0	0	0
市委託料	338,040,715	339,275,178	339,599,276

職員 平均年齢	48.3 歳	職員平均 給与(年額)	6,420,947 円	役員平均 報酬等額(年額)	7,334,588 円
------------	--------	----------------	-------------	------------------	-------------

※常勤職員(市派遣を除く)の平均

※常勤役員についての平均

## 4 実施事業 (単位:円、%)

主要事業	区分	事業内容	事業費※	市支出額	依存率
千葉マリンスタジアム他施設管理業務	自主	千葉マリンスタジアム他の施設管理業務	588,526,324		0.0
蘇我スポーツ公園管理運営	受託	指定管理者として管理運営を行う	275,234,884	107,437,276	39.0
コミュニティセンター管理運営	受託	指定管理者として管理運営を行う	285,535,844	232,162,000	81.3

※R6年度決算額

指定管理者として管理する 公の施設	千葉市蘇我スポーツ公園 千葉市美浜区高洲コミュニティセンター 千葉市美浜区真砂コミュニティセンター 千葉市若葉区都賀コミュニティセンター 千葉市緑区鎌取コミュニティセンター
----------------------	--

情報公開	HPアドレス	<a href="https://www.marinestadium.co.jp/">https://www.marinestadium.co.jp/</a>
	公開情報	<input type="checkbox"/> 定款・寄付行為 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 経営改善計画

## 5 評価指標(共通指標) (単位:%)

	評価指標	R4年度	R5年度	R6年度
自立性	補助金依存率			
	受託事業収入率	34.7	30.8	29.6
	自主事業比率	45.2	37.4	43.1
効率性	人件費比率	4.7	4.7	4.3
	販管費比率	9.2	8.9	8.7
安全性	自己資本比率	56.2	56.9	56.9
	流動比率	532.8	462.8	443.0
	固定長期適合率	1.6	2.8	2.4

## 6 外郭団体による評価

総合評価	スポーツ事業(スタジアム管理・蘇我スポーツ管理)、文化事業(高洲・真砂・鎌取・都賀コミュニティセンター)の2事業体制で効率的な事業展開を行ってきた。当期の売上高は1,043,979千円となり、売上総利益は、131,068千円となった。さらに、役員報酬・退職給付引当金・減価償却費などの一般管理費を差引いた営業利益は、51,357千円となり、営業外損益及び法人税等を計上した結果、当期純利益は39,028千円となった。
今後の方針	引き続き、ZOZOマリンスタジアム、蘇我スポーツ公園及び、コミュニティセンター4施設の管理業務を推進し、それぞれの施設の設置目的を最大限に発揮できるよう取り組むとともに、各事業において適正な利益を計上できるような確かなマネジメントを行う。当社の展開している事業は千葉市の公の施設管理運営であり、各施設の形態は異なっているものの、利用者の方々に安心して利用いただける魅力ある施設となるよう引き続き努力を重ねる。

## 7 所管局による評価

総合評価	スポーツ事業と文化事業の2事業体制により、市からの受託事業を中心に取り組んでいる。スポーツ事業においては、千葉ロッテマリーンズの球場運営サポートやプロ野球の開催に貢献するとともに、大型音楽イベントの協力企業として主催者をサポートしている。 文化事業においては、コミュニティ4施設の運営に貢献し、営業成績においては、営業利益51,357千円、当期純利益39,028千円を確保し、19年ぶりの復配を行う等、安定した経営状況を維持しているものと評価する。
今後の方針	引き続き、経費の見直し、業務配分を見直すなどさらに効率化を図り、経営の安定化を維持されたい。 2事業において、今後も人件費の高騰や物価高等が想定されるが、引き続き経費削減等に努めるほか、安定した施設運営が望まれる。 文化事業においては、4施設の安定した運営をするとともに、地域性を考慮した自主事業の展開により、地域の文化活動に貢献できる運営が望まれる。